

そうほうもん

S O H O M O N

第1回

ITのよろず屋なんです

旭川に戻ってから起業

——まず、会社名の由来と経歴についてお聞かせください。

高井 旭川ってある意味、匠のまちなので、コンピュータのITの匠、技術者というところを大事にしていきたいと、「匠ソフト」と付けました。生まれは札幌ですが、旭川の高校を卒業後、仙台のコンピュータの専門学校へ。そのまま東京のコンピュータの会社に入社して、主に銀行のシステムを開発していまし

た。その後、転職を重ね、旭川に戻り起業しました。

——起業のきっかけは何ですか。

高井 前職の会社の経営が傾いて、会社を辞めなければならなくなり、自分はどうするか決断を迫られたのがきっかけです。

——仕事の内容は。

高井 メインはシステム開発ですが、ITのコンサルティングを要求されることも多いです。私が構築をお手伝いし、使えるようにした段階で引き渡すという感じです。作成

か。すべてお客さま自分なので、やり取りの中で自分の主張を入れた時間配分ができるようになった。苦労している点は、仕事が集中しちゃうことです。断ると仕事が多くなるので、受けざるを得ない。無理難題の仕事をはかに振れば、代わりになる人がリスクを起すことになる。仲間にお願しても利益を提供できないと迷惑をかけてしまう。そこで葛藤を起します。

——これから起業しようと思ってい

る方にメッセージをお願いします。

高井 SOHO5年目ですが、決して平坦な活動ではなかったです。けれども、自分の責任においてすべてが決められるというのは大きな魅力だと思います。チャレンジしたい気持ちがあれば、何とかお金は回ってくるようになる。お金が心配できないというよりも、志が頓挫しなければ、理想論じゃないけれども、お金はついてくるんだな。恐れずにチャレンジしていいと思います。



匠ソフト 高井 秀

システム開発 / データベース開発 / ホームページ制作

1969年札幌市生まれ
1987年旭川西高卒業
1990年東北電子計算機専門学校卒業
1990年東京のソフトウェア会社勤務後、数社を転職
2006年旭川にて起業
2006年ASC入会/2010年～代表

旭川市春光5条2丁目5番9号
TEL 0166-55-8873
Mail : takai@takumisoft.net
WEB : http://takumisoft.net/

よりも運営の部分でホームページにかかわる仕事もあります。あと、「こんなことできないかい?」と言われて電気工事のようなこともやっています。いわばITのよろず屋なんです。

家族を優先できる喜び

——SOHOという形態をとって良かったと思うこと、また逆に苦労していることは。

高井 良かったことは、家族を優先できる機会が増えたことでしょう

仕事中のBGMは演歌

——最後に、マイブームや趣味は。

高井 子どもにWiiを買ったんですけれど、私のはまってしまっただけで、家にながら運動ができることにすごく喜びを感じています。あとは仕事中に演歌を聴くことです。

——演歌を聴くんですか。

高井 ものすごい精神論を語っているんです。北島三郎が「おれが海に出るのはかわいい子どもとおまに腹いっぱい飯を食わせるため」とか言うとおれも腹いっぱい飯を食わしてやりたいって単純に響けるんです。あんまり難しい言葉より。

——普段複雑な仕事をしているからこそ、単純な言葉に癒やされるとい



時には電気工事も行い、幅広くお客様をサポート。会社の制服がそれを物語っている。